

「出会いに支えられて」

人生の先輩として後輩の皆様へ

私が薬学部を選んだのは、何かあっても生活ができるであろう「国家資格」がとれるからという動機からでした。当時は、医療者になるという自覚があるわけでもなく、ちょっと理系の科目が他の人よりできが良かったという程度で、最終的に大学人として定年を迎え、日本学術会議という科学者の代表組織で副会長をすることになるとは夢にも思っておりませんでした。

大学卒業後にまず製薬企業、そして大学病院、最後に大学と3つの業態を経験することになった？できた？のは、様々な人との出会いがあったことでした。まさに「出会いに支えられて」です。こうした経験から、研究畑中心の大学教員の中では異質な存在としてユニークな学会活動を展開することができました。講演では私の歩みとともに、私が尊敬する女性の先輩や友人のエピソードもご紹介したいと思います。様々な方向性を目指す皆様の参考になれば幸いです。